

MOVE!

子どもが動く授業へ

組織的に動く学校へ

平成27年度
佐伯教育事務所通信

NO.11

発行者 米持 武彦
編集者 姫野 賢一
平成27年6月3日

学校訪問シリーズ その2

<訪問校>
佐伯小学校
大入島小学校
大入島中学校

「組織的に動く学校」への改善・充実の取組



観点4. 検証に当たっての年度中の取組指標, 重点的取組, 達成指標の改善では
【大入島小】運営委員会, 職員会議のたびに4点セットの取組状況を議題にしている。

観点5. 教職員評価システムの趣旨を一層徹底することについては

【大入島中】教頭が主任に対して学校の重点目標等と自己目標が連動するように指導助言し, 校長による個別面談で適正な達成指標の設定を行っている。

観点6. 重点目標の達成を担う主任等を明らかにし, 責任を与える取組については

- 【佐伯小】児童の力を育むための3つの重点目標を, 学力(研究担当), 体力(体育担当), 規範(生活担当)に担わせ, 主幹教諭が総括を行っている。
- 【大入島小】学力向上, 体力向上について各主任が責任をもって行い, 教務主任が, 進行管理を行っている。
- 【大入島中】教務主任が, 運営委員会や職員会議までに必要な資料や提案等についてのとりまとめ, その期日までに企画委員会(素案検討委員会)を設けて運用している。

【今回のポイント】 ○授業改善計画の作成を!

児童生徒の力や意欲の向上に確実につなげていくには, 管理職による組織的な授業改善を教育目標達成の中心的な取組に据える必要があります。

年間を通じて授業の質の向上に取り組みとともに, 授業改善の中で得られたことを翌年度の教育課程に反映するなどして, 計画的で継続的な取組を進める事が大切です。

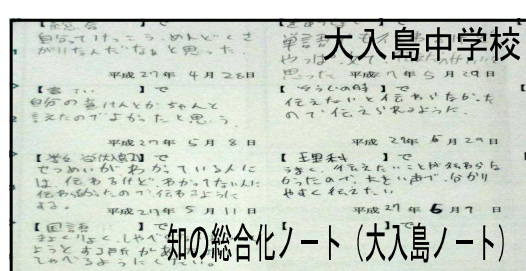
そのためには, 管理職の方針のもと, 教育課程を立案・編成をする主幹教諭や教務主任, また, 校内研究として直接授業改善に携わる研究主任の役割が, 大変重要です。
授業改善のためには, 組織として学校全体で取り組んでいくことが, 必要不可欠です。

「子どもが動く授業」への改善・充実の取組



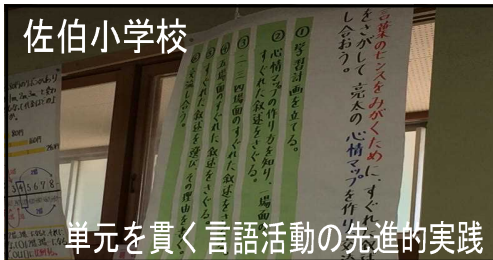
大入島小学校

複式学級におけるガイド学習の推進



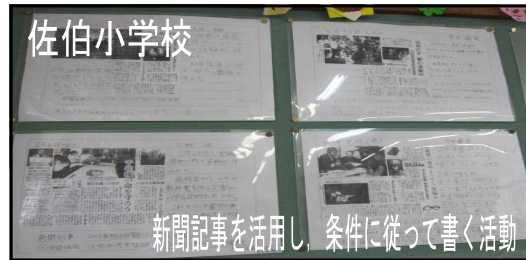
大入島中学校

知の総合化ノート(大入島ノート)



佐伯小学校

単元を貫く言語活動の先進的実践



佐伯小学校

新聞記事を活用し, 条件に従って書く活動